

令和3年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

本校は、産業創造系、機械系、電気系の各系がもつ特徴を生かし、創造的なものづくり教育を中心とした工業教育を行う校訓として、「誠実・剛毅」「自主・創造」「敬愛・協力」を掲げ、健全な生徒の育成を図る

本校のミッション（使命）は、「地域社会のリーダーとなり得る人格を兼ね備えた、ものづくりのスペシャリストの育成」である

『「地域の宝」となる！』というスローガン（標語）を掲げ、経済産業省が提唱する『社会人基礎力（前に踏み出す力）（考え抜く力）（チームで働く力）』の育成とともに、優れた工業技術や創造性を有する人材を育成する

- 1 人権尊重の理念を正しく理解し、豊かな人間性と基本的な生活習慣に加え、礼儀や挨拶などの社会性を身に付けた生徒を育成する学校
- 2 自ら課題を見つけ出し、他の人々と協働してその解決に主体的に取り組むことのできる、創造性豊かな製品開発のスペシャリストを育成する学校
- 3 生徒一人ひとりを大切にした教育を実践し、生徒および保護者から『入学してよかった』『学んでよかった』『卒業してよかった』と言われる学校
- 4 地域の「ものづくり」の発信源となり、地域の住民、産業界から『地域の宝』として信頼される学校

2 中期的目標

- 1 基本的な生活習慣の育成と規範意識の醸成
 - (1) 家庭や地域と連携し、基本的な生活習慣を確立させ、社会性や規範意識をはぐくむ。また、課題を早期に発見し、中途退学を防止する。
 - ア、退学率を1.5%未満、遅刻件数を900件以下とし、令和5年度には遅刻件数を800件以下とする。
(退学率：H30 2.4%、R1 1.2%、R2 0.6%) (遅刻回数：H30 1129件、R1 1195件、R2 985件)
 - (2) 部活動や学校行事等の活性化を図り、生徒の自尊感情と愛校心を育成する。
 - ア、クラブ加入率を45%以上。また、令和5年度には50%以上とする。(クラブ加入率：H30 42.4%、R1 39.5%、R2 51.7%)
 - 2 「確かな学力」の育成
 - (1) 教員の授業力を向上し、主体的・対話的な授業を展開することで、「確かな学力」を育てる。
 - ア、年2回の授業公開週間を設定する。授業実践の共有を推奨し、相互に好事例の共有及び改善点の把握に努め、授業改善を行う。
 - イ、授業理解度を75%以上。また、令和5年度までには、78%以上とする。
(授業理解度：[普通科]・[専門科] H30 78.7%・74.8%、R1 76.9%・72.8%、R2 80.1%・67.9%)
 - ウ、授業アンケート結果による総合（設問1～9）スコアを3.19以上とする。また、令和5年度までには3.20以上とする。
(授業アンケートスコア [12月]：H30 3.18、R1 3.21、R2 3.19)
 - (2) 授業のICT化を推進し、全ての教員がICTを活用した授業を実践できるようにする。
 - ・授業において、少なくとも1回以上ICTを活用した実践を行う教員の割合を80%以上。また令和5年度までには100%とする。
 - 3 生徒一人ひとりを大切にした教育の推進
 - (1) 工科高校における新たな教育を探求し、習得した技術・技能を基礎とした、イノベーションを生み出す創造力を育成する。
 - ア、各種コンテスト、大会に積極的に参加をし、入賞等の成果を上げる。また、資格取得にも取り組み生徒の自尊心を育成する
 - (2) 正しい勤労観・職業観を育成するために、「キャリア教育」・「職業教育」の充実を図り、社会の変化に主体的に対応できる力を育成する。
 - ア、応募前職場見学、インターンシップ、企業見学への参加者を累積で450名以上とする。また、令和5年度までには500名以上とする。
(応募前職場見学、インターンシップ、企業見学参加者累積：H30 459名、R1 510名、R2 392名)
 - イ、就職一次合格률을85%以上とする (H30 86.7%、R1 86.2%、R2 84.7%)
 - (3) いじめを防止し、支援が必要な生徒については個性に応じたきめ細やかな支援を行い、生徒に安全で安心な教育環境を提供する。
 - ア、入学満足度を75%以上、登校満足度を73%以上、令和5年度までには、入学満足度を77%以上、登校満足度を75%以上とする。
(入学満足度：H30 68.1%、R1 70.8%、R2 75.5%) (登校満足度：H30 69.2%、R1 64.7%、R2 73.4%)
 - イ、必要に応じて「個別の教育支援計画」・「個別の指導計画」を作成し、一人ひとりの個性に応じた指導を行う。
 - 4 地域と連携した開かれた学校づくり
 - (1) 学校説明会等広報活動を積極的に行い、学校の魅力の発信を効果的に実施する。
 - ア、オープンスクールを年2回開催し、参加者を350名以上とする。また、その他の説明会を年10回以上開催する。
(オープンスクール参加者：H30 451名、R1 374名、R2 257名) (その他説明会開催回数：R1 11回、R2 5回)
 - (2) 「地域産業連携重点型」工科高校として、地域企業や、行政組織等と連携してイベントに積極的に参加をする。活動を通して、生徒のものづくり技術やコミュニケーション能力の向上を図る。
 - ア、企業等連携を15社以上、学校PRを10回以上とする。
(企業等連携：H30 25社、R1 20社、R2 8社) (学校PR：H30 11回、R1 6回、R2 9回)
 - (3) 校内のICT化を推進し、業務の効率化とともに会議時間の縮減を行い、教員の負担軽減を図る。また、効果的な情報発信をおこなう。
 - ア、学校Webページの更新を150回以上とし、令和5年度には、200回以上とする。
(学校Webページの更新：H30 257回、R1 198回、R2 155回)

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R2年度値]	自己評価
1 育成と規範意識の醸成	(1) 家庭や地域と連携し、基本的な生活習慣を確立させ、社会性や規範意識をはぐくむ。また、課題を早期に発見し、中途退学を防止する。 (2) 部活動や学校行事等の活性化を図り、生徒の自尊感情と愛校心を育成する。	1)・日常的に遅刻、頭髪、服装等についての指導を行う。また、定期的に全校的な指導を実施し、規範意識の向上を図る。 【生活指導部】【担任】 ・懇談週間を設定し、家庭と生徒情報を密に交換し、課題の早期発見に努める。 【生活指導部】【担任】 2)・新入生および、中学生に対してクラブ体験週間を実施し、入部を促進する。 【生活指導部】【担任】	1)・退学率 1.5%未満 [0.6%] ・遅刻数 900 件以下 [985 件] ・懲戒件数 30 件以下 [12 件] ・生徒 (社会のルールや命の大切さを学ぶ) 80%以上 [82.6%] 2)・クラブ加入率 45%以上 [51.7%] ・生徒行事満足度 75%以上 [65.2%]	
2 「確かな学力」の育成	(1) 教員の授業力を向上し、主体的・対話的な授業を展開することで、「確かな学力」を育てる。	1)・授業アンケート、外部テストを活用し、各教科や、個人の課題を明確にし、改善を行う。【教務部】【各系】【普通科】 ・少人数授業を行う。適切に習熟度別授業を実践し、生徒の課題に対応する。 (国語、数学、英語及び家庭)【普通科】 ・授業公開週間や研究授業を実施し、好事例の共有を図る。【教務部】【各系】 ・職員会議、研修等で、授業・評価の改善について周知し共有をはかる。【教務部】 ・授業における ICT 機器の活用を推進し、授業の改善を図る。【総務部】【各系】【普通科】	1)・授業理解度 75%以上 [普通科 80.1%] [専門(座学) 67.9%] [実験・実習 82.2%] ・授業アンケートスコア 3.19 以上 [7月 3.13]・[12月 3.19] ・授業公開週間 2回以上実施 [2回] ・授業・評価改善の周知機会 3回以上 ・授業での ICT の活用 80%以上	
3 生徒一人ひとりを大切にされた教育の推進	(1) 工科高校における新たな教育を探求し、習得した技術・技能を基礎とした、イノベーションを生み出す創造力を育成する。 (2) 正しい勤労観・職業観を育成するために、「キャリア教育」・「職業教育」の充実を図り、社会の変化に主体的に対応できる力を育成する。 (3) いじめを防止し、支援が必要な生徒については個性に応じたきめ細やかな支援を行い、生徒に安全で安心な教育環境を提供する。	1)・ものづくりに関する競技、コンテスト等に積極的に応募、出場し、成果を挙げて生徒の自尊心の育成を図る。【各系】 ・各種資格検定に積極的に取り組む。【各系】 2)・インターンシップ、企業見学など、仕事に触れる機会を多く設定し、正しい勤労観・職業観の育成を図る。 【進路指導部】【各系】 ・進路講話や職業に関する探究活動を推奨し、主体的にキャリアの育成に取り組む態度を育成する。【進路指導部】【各系】 3)・「いじめは絶対に許さない」の信念のもと、厳しさの中にも、カウンセリングマインドを持って生徒指導を行う。 【保健人権部】【生活指導部】【担任】 ・年2回のアンケートを実施して、問題の未然防止に努める。 【保健人権部】【生活指導部】【担任】 ・学習支援や相談機能を充実させ、中途退学者の防止を図る。 【支援C】【保健人権部】【担任】	1)・コンテスト応募件数 100 件以上 [193 件] ・近畿大会・全国大会での入賞 [ロボット相撲他] ・資格取得者数 600 以上 [481 名] 2)・応募前職場見学参加者 150 名以上 [166 名] ・インターンシップ参加者 30 名以上 [2 名] ・企業見学 300 名以上 [224 名] ・就職一次合格率 85%以上 [84.7%] 3)・いじめ重大事象 0 件 ・生徒入学満足度 75%以上 [75.5%] ・生徒登校満足度 73%以上 [73.4%] ・生徒いじめ満足度 80%以上 [83.5%] ・生徒指導納得度 65%以上 [57.1%] ・生徒相談満足度 60%以上 [58.2%] ・保護者入学満足度 95%以上 [96.5%] ・保護者登校満足度 75%以上 [81.5%]	
4 地域と連携した開かれた学校づくり	(1) 学校説明会等広報活動を積極的に行い、学校の魅力の発信を効果的に実施する。 (2) 「地域産業連携重点型」工科高校として、地域企業や、行政組織等と連携してイベントに積極的に参加をする。活動を通して、生徒のものづくり技術やコミュニケーション能力の向上を図る。 (3) 校内の ICT 化を推進し、業務の効率化とともに会議時間の縮減を行い、教員の負担軽減を図る。また、効果的な情報発信をおこなう。	1)・中学生及びその保護者のニーズに沿った「オープンスクール」を年2回実施する。 【総務部】【各系】 ・多様な説明会等を実施し、学校の魅力発信に努める。【総務部】【首席】 2)・地域企業、事業所等と連携し、ものづくりにおける技術力の向上を図る。【各系】 ・行政機関や民間団体等と連携し、様々なイベントに参加して、ものづくりへの関心を高め、生徒の発信力を高める。【各系】 ・地域とも連携し、ボランティア活動や清掃活動を行う。【各系】【担任】【生活指導】 3)・積極的に学校 Web ページを活用した学校 PR を行う。【総務部】【各系】【クラブ顧問】 ・校内の ICT 環境を整備し、情報共有の効率化を図り、教員の事務負担を軽減する。 ・会議時間の短縮を図り、教職員の負担を軽減し、働き方改革を行う。	1)・オープンスクール参加者 350 名 [265 名] ・その他説明会開催回数 12 回以上 [5 回] 2)・企業等連携 15 社以上 [8 社] ・学校 PR (イベント参加) 10 回以上 [9 回] ・奉仕的活動取り組み件数 3 件以上 [2 件] 3)・学校 Web ページの更新 150 回以上 [155 回] ・職員会議実施時間 1 時間以内 80%以上 [65%]	